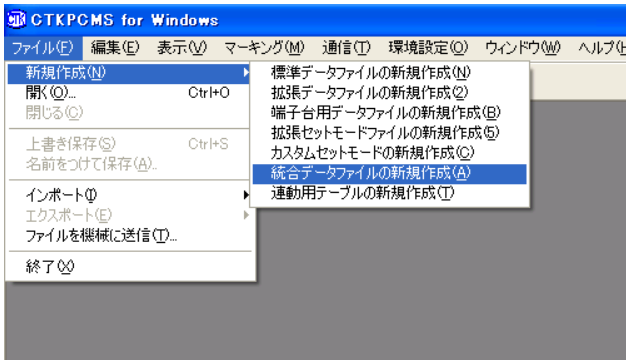


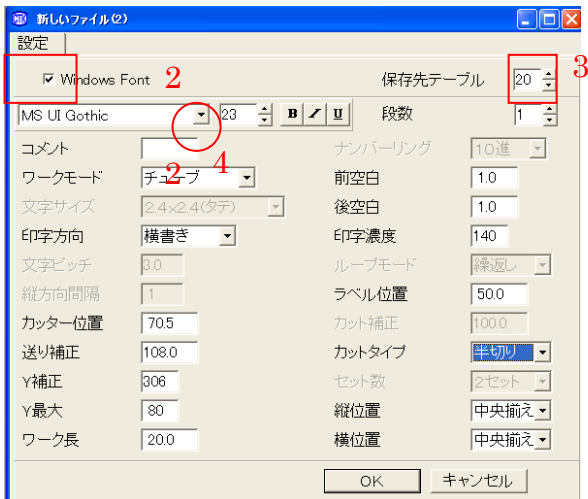
統合ファイルマーキング簡易マニュアル (漢字や記号の入力方法)

1. 新規ファイル作成



- 1 ファイル(F) → 新規作成(N) → 統合データファイルの新規作成(A) をクリック

2. 統合データファイル設定の入力

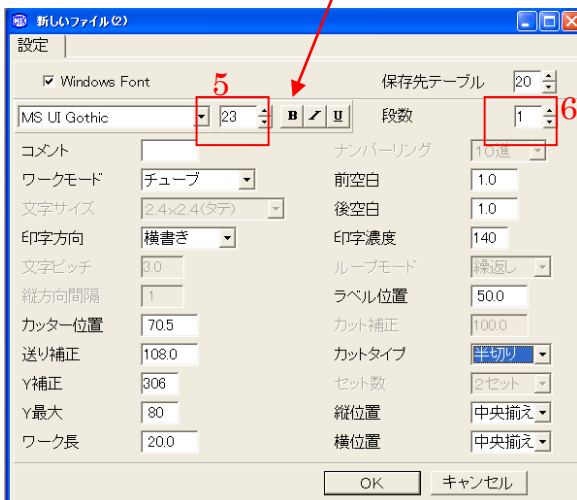


- 2 Windows Font にチェックを入れる
- 3 保存先テーブルを設定 (20)
(注) SP 本体のテーブル番号 20 に設定値が上書きされます

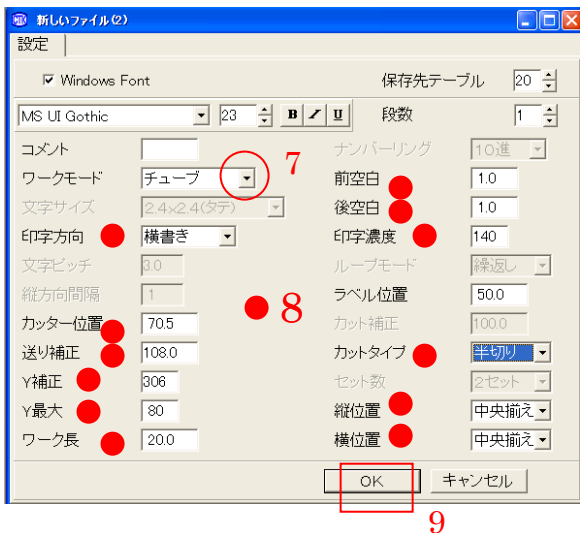
- 4 文字の書体を選ぶ (MS UI Gothic)
(注) 「MS P ゴシック」等の P タイプはマーキング文字どうしの隙間がないため設定おすすめできません

WWWW

太文字ボタン



- 5 ポイントの数字で文字の大きさを設定します (23 ポイント)
※ 16 ポイント以下の小さな文字の場合文字線幅が細く、マーキングが薄くなります。その場合、**B** (太字) ボタンをクリック。
- 6 段数を設定(1)
※ 2 段印字の場合、「2」に設定



7 ワークモードを選択します (チューブ)

8 選択したワークモードと同じ SP 本体
テーブル設定値を参考にしながら
各テーブル値を設定します

(注) Y 補正の値は本体と同じ設定にして
下さい

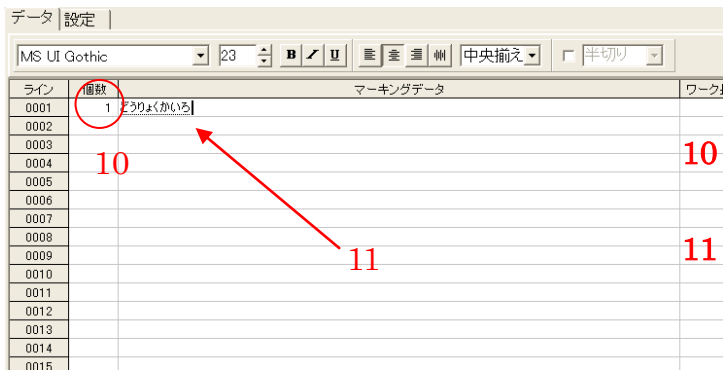
※ サーマルヘッド 取付け位置で変わります

9 **OK** ボタンをクリック

※ SP 本体のテーブル値を参考にして入力

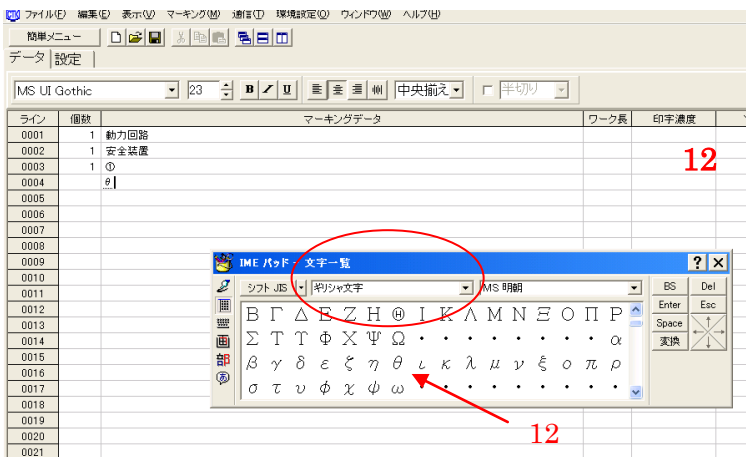
カッター位置	70.5	送り補正	108.0	Y 補正	306
Y 最大	80	ワーク長	20.0	前空白	1.0
後空白	1.0	印字濃度	140	カットタイプ	半切り
縦位置	中央揃え	横位置	中央揃え		

2. 統合データファイルデータの入力



10 個数入力(半角 1)

11 かな入力(全角 どうりょくかい)



12 IME パッド 文字一覧 ギリシ文字から
「θ」をクリック

3. アース記号の入力

13 「、」「。」を入力

14 カーソルを「Font」項目に移動

ライン	個数	マーキングデータ	ワーク長	印字濃度	Y補正	Font
0001	1	動力回路				
0002	1	安全装置				
0003	1	①				
0004	1	θ				
0005	1	⊕				
0006						
0007						
0008						
0009						
0010						
0011						
0012						
0013						
0014						
0015						
0016						

15 書体プールダウンメニューからCTK書体を選択クリック

16 マーキングデータの表示がアース記号に変わります
※ 丸付き・丸なしアース記号

17

ライン	個数	マーキングデータ	ワーク長	印字濃度	Y補正	Font
0001	1	動力回路				
0002	1	安全装置				
0003	1	①				
0004	1	θ				
0005	1	⊕				CTK
0006						
0007						
0008						
0009						
0010						
0011						
0012						

4. マーキング

17

17 メニューの「マーキング(M)」をクリック
「範囲を指定してマーキング(M)」をクリック

- ① SP 本体マーキングセッティング(ワークをセット、ヘッド降ろす等)
- ② マーキング範囲等を指定して、**OK** ボタンをクリックするとマーキングが開始されます

END